

2026年4月19日

跳躍パート活動報告

跳躍パートキャプテンを務めております、柴田駿吾と申します。まず、この場をお借りして、日頃から陸上競技部の活動を支えてくださるOB・OGの先輩方に心より感謝申し上げます。皆様のご支援、ご協力により私たち部員は日々練習に励むことができます。この度は跳躍パートの今シーズンの目標と併せて近況の報告をさせていただきます。

2025年を振り返りますと、東北インカレにおいては、男子棒高跳の島村(当時4年)の大会新記録での優勝、早藤(当時2年)の男子走幅跳での優勝をはじめとして多くの選手が得点を獲得し、総合優勝に貢献しました。さらには日本インカレという大舞台において自身の自己ベストを更新した早藤をはじめとして、大幅な自己ベスト更新を達成した部員が多数おり、昨シーズンは多くの部員にとって実り多きシーズンであったと言えます。

跳躍パートの今年度の目標は「全員得点関与」、「全員自己ベスト更新」です。これらの目標達成に向けて日々練習に取り組んでおります。昨シーズンは日程がややイレギュラーであったこともあってか、ここぞという場面で力を発揮することができず悔しい思いをした部員もいます。その反省を受けて、今シーズンは狙った試合で実力が発揮できるようなメニューづくりを意識して行います。

先日、県内で今シーズン初の試合が行われ多くの部員がシーズンインしました。天候も相まって、なかなか思うような結果を残せなかった部員が多かったですが、冬季練習で積み上げてきたものが少しずつ見えてきて、今シーズンを見通すことができ、良い機会となったと思います。私自身も久方ぶりに4月にシーズンインを迎えることができ、シーズンの見通しを立て、今後のモチベーションを高めることができました。

OB・OGの皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますと幸いです。応援よろしくお願いいたします。